

「思い出がつなぐもの」



後藤伸子職務代理者

今年の夏休み、中学生の我が子に一番多くかけた言葉は「宿題したの?!」かもしれません。目下、悩みのひとつです。

そんな私ですが、幼い頃の夏休みは父(もしくは母)の実家に連泊して親戚一同ガヤガヤ過ごすのが恒例でした。

TV ゲームも普及していない時代。やることと言えば、祖父母のお経に合わせて仏壇に手を合わせる「おつとめ」、昼にはお墓参りや川遊び。祖父が運転するバイク(カブ)の荷台に乗かって町内一周「ツーリング」は従兄弟たちと順番を競いあう特別行事でした。夜はトランプ、花火にホテル、大人も子どもも大汗かいての相撲大会。お酒も飲まないのに母親たちのおしゃべりは絶えず、父親たちは高校野球で一喜一憂。子どもたちの笑い声もケンカの声も鳴き続けるセミに負けないくらいに響いていました。

ちなみに、宿題をした記憶は.....!ほぼございません。

振り返ってみると、何てゆったりした子ども時間を過ごしていたのでしょうか。

当時は子どもなりに嫌なこともあり、集まりに煩わしさを感じる時期もありました。ですが、この子ども時代のゆったりした時間の貯金が、大人になった自分を助けてくれることがあると今になって思うのです。

どうしようもない焦燥感にかられた時、自分の行動にブレーキをかけてくれたり、ふと冷静になれたり。見えない何かに守られている、そんな感覚。子ども時代に受けた暖かい眼差しとおおらかな自然の思い出が自分を支えてくれるのです。

当時の大人たちにそんな意図があったのか、また自分が親になってそんな時間を子どもに過ごさせてあげているのか、正直なところ分かりません。いや、2つ目に関しては経済的、時間的、環境的、様々な言い訳を盾にできていないです(ごめんなさい)。

でも一人ではできない分、今は子どものための市民講座や体験教室、ボランティアなど地域で学ぶ場がたくさんあります。こども園や学校では、子どもたちの成長に手を差しのべ声をかける先生方がいらっしやいます(これは今も昔もですね)。こういった場や周りの大人たちの暖かい眼差しが、今だけでなく未来でも、その人の支えにつながっていくと思うのです。

一人の力は小さいですがそれも含めて、多くの温かい見守りの中で子どもたちが育っていくことを願っています。

令和6年度の恵那市教育委員会の主な取り組み

中学生を対象としたスポーツ教室 (スポーツ課)

中学生のクラブ活動の充実と指導者の指導力向上を目的として、令和6年度はオリンピックや企業・大学チームなどトップアスリートによる部活動対象種目の全10競技に対しスポーツ教室を開催しています。



元日本代表の中垣内祐一さんによるバレーボール教室

「まなぶ」拠点施設整備～旧岩村振興事務所を活用～

(社会教育課)

活用が検討されてきた旧岩村振興事務所を「まなぶ」拠点施設として整備します。建物1階を、佐藤一斎の教えを伝える佐藤一斎記念館（仮称）と、多様な読書スタイルを提供する市中央図書館分館に改修し、郷土への愛着と誇りを育むと共に、観光振興を図り地域活性化にも寄与する施設とします。令和7年秋の開館を予定しています。



佐藤一斎記念館（仮称）の館内イメージ

3歳以上児給食費無償化事業

(幼児教育課)

令和6年度からはじまった「恵那市子育て支援パッケージ」の一つとして、子育て世帯の経済的負担の軽減と子育て環境の充実を図るため、市内在住の3歳以上児の給食費（副食費に限る）を無償化しています。

【内容】

- ・ 公立こども園の3歳以上児給食費無償化
- ・ 私立保育園、幼稚園への給食費（副食費）相当分の助成



歴史資源の活用・保存「県史跡明知城跡総合調査事業」

(文化課)

県史跡明知城跡は、令和10年度の国史跡指定を目指して当事業を開始しています。令和5年度は詳細な航空レーザー測量を行いました。令和6年度、7年度は本丸、出丸の発掘調査を実施します。

今後は、文献調査や歴史地理調査を実施予定です。



明知城跡の本丸

ICT教育ツールによる個別最適な学習で学力向上を推進

(学校教育課)

家庭学習のさらなる充実のため、新たな学習ドリルアプリ『ドリルパーク』を導入しました。宿題での活用はもちろん、自分のペースで行う自主学習に活用できます。

即時の正誤判定や、AIによる自分に合った問題の出題等、様々な機能を搭載し、ICTで子供の学習を支援します。



学習ドリルアプリで家庭学習をしている様子